

# 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）策定のための 地域包括支援センターワークショップ

## 1 目的

地域包括ケアシステムの実現に向けて、各地域包括支援センターが担当する地区的現状と課題を明らかにし、地区の特性に応じた決め細やかなサービス提供を行うこと、また、平成30年度を始期とする次期計画に盛り込むべき施策等を検討するための基礎資料とすることを目的に実施。

## 2 実施方法・実施日

地域包括支援センター別にワークショップ方式で実施（計11か所、各2時間）

## 3 実施内容

可能な限り全職員が参加し、次の流れに沿って実施

### ワークショップの流れ

#### 1 地区の現状把握（強み・弱み）

統計データや社会資源の整備状況、アンケート調査の集計結果を踏まえ、担当地区の強み・弱みを整理する。

#### 2 現在の取り組み

各包括・担当で取り組んでいることを整理する。

WS 実施日までの宿題

#### 3 地区の課題（課題の整理）

1、2を踏まえた課題を整理する（グルーピングし、見出しをつける）。

#### 4 目指すべき将来像（地区のあるべき姿）の検討

平成37年の高齢者人口等を想定して、目指すべき将来像（あるべき姿）を検討する。

#### 5 主要課題の明確化

「4 あるべき姿」を実現するための、主要課題を検討する。  
また、現在想定している課題の妥当性を確認する。

#### 6 推進事業の提案と役割分担の検討

主要課題を解決するための事業を提案する。（市ではなく、包括中心事業を優先）  
また、推進事業実施の役割分担を明確化する。